

創立80周年を祝う 和楽路会

小峯会長から数野新会長にバトン継ぐ



和楽路会創立80周年記念式典

青梅市の和楽路会（小峯國男会長、会員数約85人）の創立80周年記念式典が6月14日、同市野上町の霞共益会館であった。会員と来賓合わせて90人ほどが出席し、歴史に思いを寄せ、新たな歩みに向け決意を共にした。

80周年の節目を刻み、新たな1歩を踏み出した会員たち

郷土愛を柱に地域発展に多大な功績



新会長の数野國明さん、副会長の関塚博美さん、塩野且巳さん、監事の中村経男さん、館盛和さん（右から）

同会は太平洋戦争開戦1カ月前の1941（昭和16）年11月に結成された。77年には若手で組織する第2和楽路会が発足。郷土愛を柱に東部の旧霞地域で地域活性化と会員相互の親睦に取り組んできた。市政、国政など政治にも高い関心を寄せ、有言実行を貫いた。式辞で小峯会長は「霞地区で生まれ育った人たちが一生懸命地域発展のために取り組んだからこそ80周年の戦い」を振り返り、



式辞を述べる小峯会長

節目を迎えられた。今後も社会基盤の整備など青梅市発展の元になる事業の実現にみんなの声を上げ、推進していきたい」と訴えた。

秋には黄金色の田んぼで稲刈りとほざかけ円を寄付した。記念式典に先立ち2022年度定期総会が行われ、役員改選で、新会長に数野國明さん、副会長に関塚博美さん、塩野且巳さん、監事に中村経男さん、館盛和さんが就いた。新入会員16人も紹介された。

来賓で森村隆行都議、井上信治衆院議員、野村有信元都議の両秘書、野崎啓太郎JA西東京組合長が祝辞を述べ、同会の果たした功績を称えた。浜中啓一青梅市長からは祝福のメッセージが届いた。新会長の数野國明さん、副会長の関塚博美さん、塩野且巳さん、監事の中村経男さん、館盛和さんが就いた。新入会員16人も紹介された。

黒茶屋 あきる野市小中野167 ☎042-596-0129
令和4年7月の営業
<月曜日を除く全日>
ご昼食(11時~15時受付)
ご夕食(前日迄のご予約制) (17時~19時受付・21時閉店)
<月曜日>
ご昼食のみの営業(11時~15時受付)
定休日:毎週火曜日、および水曜日は不定休(8月は火曜日のみ定休)

晴の庵 あきる野市小川633 ☎042-559-8080
令和4年7月の営業
<月曜日を除く全日> ご昼食(11時~15時受付)
ご夕食(前日迄のご予約制) (17時~19時受付・21時閉店)
<月曜日> ご昼食のみの営業(11時~15時受付)
定休日:毎週火曜日、および水曜日は不定休

井中居 青梅市藤橋2-32 ☎0428-30-1661
令和4年7月の営業
<月曜日を除く全日>
ご昼食(11時~15時受付)
ご夕食(前日迄のご予約制) (17時~19時受付・21時閉店)
<月曜日>
ご昼食のみの営業(11時~15時受付)
定休日:毎週火曜日、および水曜日は不定休

※新型コロナウイルスの感染状況等により、今後も営業内容を変更させていただく場合がございます。

お越しの際はホームページが電話でご確認ください。

田植えに26組60人が参加

青梅市で親子農業体験会



青梅市農業委員会とJA西東京が共催する親子農業体験会の田植えが6月18日、同市藤橋の天皇塚田んぼであった。田植え作業には26組60人ちかくの親子が参加。農業委員やJA職員30人が補助しました。田んぼに入った参加者は一列に並びキヌヒカリの苗を3本ぐらいつづ手に取り植え込んだ。写真。

志農業委員会会長は「干ばつ、大雨、新型コロナウイルスで3年間田植え体験ができなかったが、今日は作業を通し収穫の喜びを感じてほしい」と呼び掛けた。野崎啓太郎組合長は「世界的に穀物価格が高騰しているが、日本にはおいしい米がいっぱいあります。米の生産過程を知り、食の大切さを学んでください」と訴えた。今号の「父の背中」の連載は休みます。(編集部)